

Windows NT Server Manager を使用して ICM サービスをローカルおよびリモートに停止・開始する方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[サーバマネージャへのアクセス](#)

[リモート コンピュータでのサービスの選択](#)

[サービスの調査、開始、および停止](#)

[結論](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Microsoft Windows NT 4.0 Server でサービスをローカルおよびリモートで停止および開始する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Windows NT Server の管理

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- 任意のバージョンの Windows NT
- Windows NT で動作する、任意のバージョンの Cisco Intelligent Contact Management (ICM)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく

必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

Windows NT 4.0 管理ツールのサーバマネージャを使用してサービスを停止および開始する方法を知っていれば、ドメイン内の Windows NT サーバまたはワークステーションで以下のタスクをローカル/リモートで実行できます。

- ICM サービスを調査する
- ICM サービスを開始する
- ICM サービスを停止する

Telnet または Symantec pcAnywhere を使用して Windows NT ワークステーションまたはサーバにアクセスできない場合は、サーバマネージャが役立ちます。

サーバマネージャを使用して、ローカル/リモートコンピュータを選択し、任意の ICM または Windows NT サービスを開始することができます。そのようなサービスの例として、CallRouter、ロガー、Distributor Admin Workstation (AW)、Ataman Telnet が含まれます。

注: 制限付き AW では、サーバマネージャを使用してサービスを停止および開始する必要があります。これは、ICM Service Control は、制限付き AW 用にバンドルされている機能ではないためです。

サーバマネージャへのアクセス

ICM Service Control にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. タスクバーで、[Start] をクリックします。
2. [Programs] > [Administrative Tools] > [Server Manager] の順に選択します。

リモートコンピュータでのサービスの選択

サーバマネージャを開始したら、次の手順を実行します。

1. コンピュータ名を選択します。
2. メニューバーに移動し、[Computer] > [Services...] を選択します。

サービスの調査、開始、および停止

サービスを調査、開始、および停止するには、次の手順に従います。

1. 開始または停止を実行するサービスを選択します。
2. サービスを起動するには、Start をクリックします。
3. サービスを停止するには、Stop をクリックします。

結論

これで、Windows NT ドメイン内の任意のコンピュータのサービスを起動および停止できます。リモートから ICM システムのトラブルシューティングを行う場合に重要になるのは、Ataman Telnetd Server サービスおよび pcAnywhere Host Server サービスです。これらのサービスを使用することで、Telnet セッションを確立したり、コンピュータ上でリモート クライアント セッションを開始したりできます。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)